

新幹線と在来線

中瀬 昭隆 議員

Q 市民と議会のつどいで、新幹線開通後の在来線についての発言があり。鹿児島本線は「おれんじ鉄道」に変わり、乗降客も激減したが、大村線は大丈夫なのか。また、新幹線駅から郡橋までの線路より山側の幹線道路はすべてアンダーパスとなり、津波等発生時に水没する危険があるため、車両基地の下に避難経路にもなる暗渠等を埋設しておくべきでは。

A JR九州は、大村線を並行在来線としてとらえてはいない。新幹線の開業後も、観光列車の運行を含め、新幹線駅から在来線に乗り継ぐなど、在来線の果たす効果は非常に大きいと考えている。また、新幹線と市道等が交差する11カ所のうちアンダーパスで計画されているのは1カ所のみで、強制排水ポンプの設置等の万全な対策がとられている。

国道34号線拡幅促進

UNSN

永尾 高宣 議員

Q 国道34号線拡幅については、残る未着手区間である空港南口交差点から水主町交差点の早期完成と、与崎交差点から本野（諫早市）までの早期事業認可を国に働きかけるとともに、早期事業認可のため知事等を招き、情熱をもつて、総決起大会を開いてはどうか。

A 空港南口から水主町までについては事業が中断されたため、早期事業再開を国に働きかけ、今年度予算化された。今後は、国、県と一緒に1年でも早く完成させたい。また、与崎から本野までについては、議会の協力のもと、早期認可のため地元選出の国会議員、九州地方整備局、県に対し、継続して要望活動を実施していく。総決起大会については、この1年ぐらいの適当な時期に計画したいと思う。



行財政・一般

「かんさく会館」の維持管理費について

山口 弘宣 議員

Q 三浦出張所にエレベーターを設置する代わりに、出張所の補完施設、南部地区のコミュニティセンターの位置づけとして建設された「かんさく会館」の維持管理費について、大村市が特別に別途確保することができないか見解を尋ねる。

A 公民館やコミュニティセンター等に対する維持管理費の補助は行っていないが、「かんさく会館」の維持管理に対する補助については、前向きに検討し、支援したいというのが基本姿勢である。「かんさく会館」の関係者や議会の意見も聞きながらどのような方法で行うかを判断したい。

詳細は、市議会ホームページの「インターネット放送」、「会議録検索」をご確認ください。
会議録は各出張所、図書館、議会事務局でも閲覧できます。

